

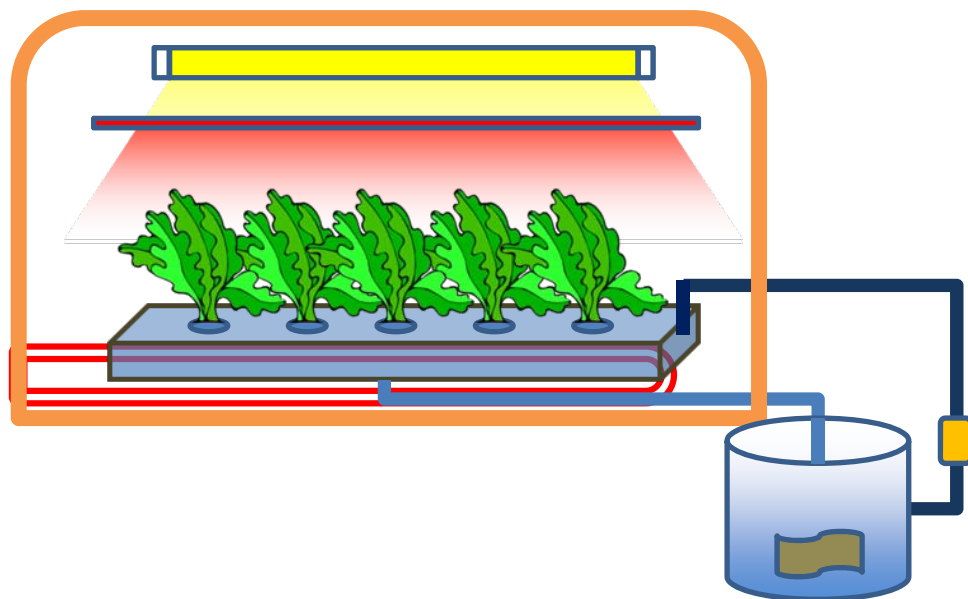
省エネ型植物工場に向けた基盤技術の開発

【研究目的】

植物工場は設置コスト・運営コストの削減が課題ですが、そのためには安価な省エネ型植物工場の開発が不可欠です。本研究は、そのために必要な温度制御、養液循環・殺菌、照明等の各要素技術についてノウハウを蓄積するものです。

【研究項目】

- 1 ヒートパイプ等による温度制御法の検討
- 2 特殊加工布による養液殺菌法の検討
- 3 波長コントロール被覆資材の検討



植物工場の利点・可能性

- (1) 安定供給(納期、数量、品質、価格)
- (2) 天候に左右されず地域や土地を選ばない
- (3) 高い生産効率
- (4) 農産物の高付加価値化
- (5) 作業環境の快適化、軽労化

植物工場の課題

- (1) 設置コスト・運営コスト
- (2) 販路の確保
- (3) 経済栽培可能な品目が少ない
- (4) 厳密な環境制御が難しい
- (5) 人材の育成